

下野市観光振興計画

概要版

平成26年9月

下野市

計画策定の趣旨

本計画は、下野市の地理的・歴史的特性と市内の各種施設等の地域の観光資源を有効活用することにより、人と人との交流による地域経済の活性化を図り、さらに、交流を通じて市民が下野市の魅力を再認識し、地域に誇りをもち、生きがいにつながる観光による地域振興を推進するための取組を明らかにするものです。

下野市の観光の課題

① 地域資源の磨き上げの不足

下野国分寺・国分尼寺跡、下野薬師寺跡などの歴史文化や天平の花まつり、グリムの館など、今ある資源をさらに磨き上げ、魅力を持たせることが必要です。



② 点在する地域資源の連携

市内には多くの観光スポットがありますが、各地区に点在するため、ストーリー性を持ったコースを設定し、周遊する仕組みづくりが必要です。

③ 観光資源の掘り起こし

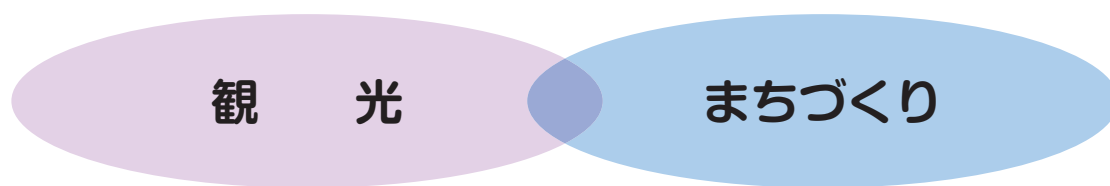
下野市には、魅力的なイベント、スポット、お店がたくさんあります。新たな来訪者を迎えるためには、まだ知られていない観光資源の掘り起こしが必要です。



④ 市民参加の仕組

来訪者にとって旅先で出会う市民とのふれあいは、その土地の印象を決定する重要なポイントになることから、おもてなしの心の醸成が必要です。

基本方針「観光まちづくり」



「観光」と「まちづくり」の融合を図ります。＝「観光まちづくり」

住んでいる人がそれぞれの地域で自分たちの生活を楽しみ、そこを訪れた人にもその楽しみを味わってもらいます。

来訪者との交流により、市民が地域の持つ価値に気付き、磨き上げ、地域をさらに活性化させます。

『住んでよいまち、来てみてよいまち』



目指すべき将来像

『四季の自然と豊かな歴史・文化が薫る下野市』

施策体系 ～実現のための5つの柱～

基本施策 1 「まほろば」の環境を楽しむ

「まほろば」にふさわしい環境の中で、市民自らが楽しむことを考え、そしてそれらの良いところを磨いて誇りにまで高め、訪れる人を迎える交流の資源として活かすことを推進します。

※まほろばとは、素晴らしい場所、住みやすい場所という意味の日本の古語です。

- 施策 1-1 古代からつながる歴史と文化を伝える【重点施策】
- 施策 1-2 花のあるまちづくり
- 施策 1-3 自然豊かな緑と川を守り育む
- 施策 1-4 田園の自然に親しめる観光まちづくり
- 施策 1-5 ピクニックタウンづくり



機織形埴輪(彩色推定復元)
～甲塚古墳出土～

基本施策 2 新しい楽しさを創る

新しい地域イベントの発掘、市内観光スポットをつないだストーリーやテーマのある周遊ルートを設定するとともに、安心して散策できるよう案内看板等の整備を推進します。

施策 2-1 地域イベントの振興

施策 2-2 市内周遊による観光の創造【重点施策】

施策 2-3 道しるベシステムの構築

施策 2-4 安心・安全なまちのPR

インフォメーションセンター
オアシスポツポ館



基本施策 3 市民主体の観光まちづくり

これまでの観光は、観光産業の振興と考えられてきましたが、観光関連の業者や行政だけでなく、市民をはじめとして、交通事業者、文化芸術関係者など様々な考え方や、価値観の異なる多種多様な主体による観光まちづくりを推進します。

施策 3-1 道行く人のための花の一鉢運動

施策 3-2 テーマ別観光まちづくりクラブ

施策 3-3 観光まちづくり学習の推進

施策 3-4 あいさつ推進運動の展開

天平の芋煮会



基本施策 4 観光まちづくり産業を育む

観光まちづくりによる内外の交流人口を増やすことにより、様々な分野の産業を活性化します。また、地域の魅力ある特産品等を掘り起こし、下野ブランドとして付加価値を付けPRすることにより、下野市の産業振興を推進します。

施策 4-1 体験型農業、対面型農産物販売等の振興

施策 4-2 商店・商工会の活用

施策 4-3 工場見学の推進

施策 4-4 地域ブランドづくり【重点施策】

道の駅
しもつけ



基本施策 5 観光まちづくり推進の仕組づくり

観光まちづくりを推進するために、様々な主体が集い相談するための場づくり、企画づくり、人材の発掘・育成を進めます。さらに来訪者の協力を得て、観光まちづくりに活かす仕組づくりを推進します。

施策 5-1 観光協会・事業者の機能充実

施策 5-2 観光プロモーションの推進

施策 5-3 観光まちづくりリーダー育成

施策 5-4 下野ファンの組織化

施策 5-5 広域連携の促進

薬師寺ボランティアの会



計画期間及び指標

本計画は、平成26年度を初年度とする平成30年度までの5か年計画として取り組みます。計画においては下野市観光入込客数(注1)の目標を、年2%の増加を見込み、計画期間の最終年の平成30年において平成24年比10%増の267万人とします。

(注1)「観光入込客」とは、日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者で、「観光地」や「行事、祭り、イベント」を訪れた者のことです。

下野市観光入込客数年次別目標数

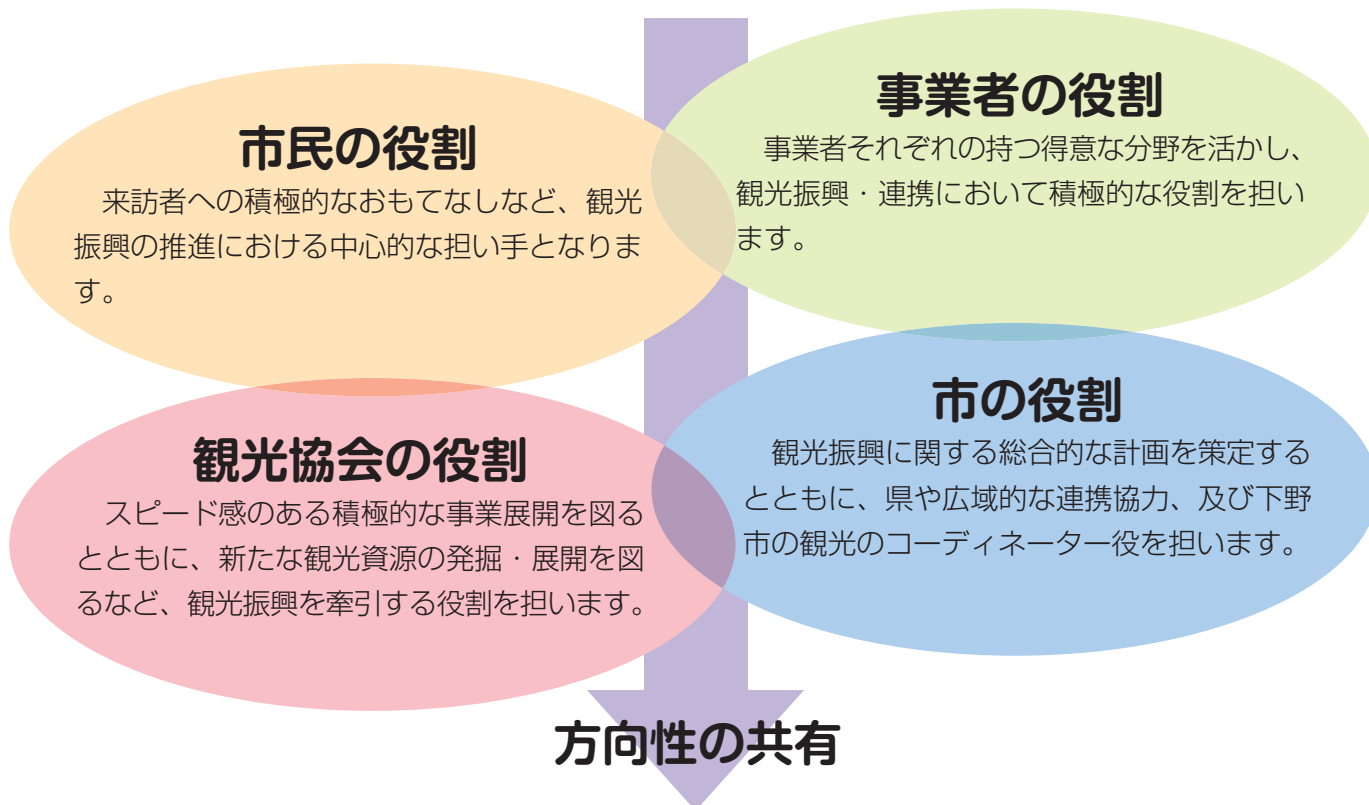
(単位：万人)

年(平成)	26年	27年	28年	29年	30年
目標数	247	252	257	262	267
延べ増加数	4	9	14	19	24

※平成24年の下野市における観光入込客数243万人(観光入込客統計(観光庁))を基準とします。
(1万人未満四捨五入)

それぞれの役割 ～連携・協調～

下野市観光振興計画を推進していくためには、市民・事業者・観光協会・市が深くかわり、各々がその役割を明確にし着実に取り組むとともに、相互に連携することが求められます。また、下野市の観光まちづくりが向うべき方向性を共有し、下野市の新たな魅力のために協調していきます。



目指すべき将来像 『四季の自然と豊かな歴史・文化が薫る下野市』へ



下野市 産業振興部 商工観光課

〒329-0493 栃木県下野市田中681番地1(南河内図書館2階)

TEL 0285-48-2112 FAX 0285-48-1424 E-mail syoukoukankou@city.shimotsuke.lg.jp